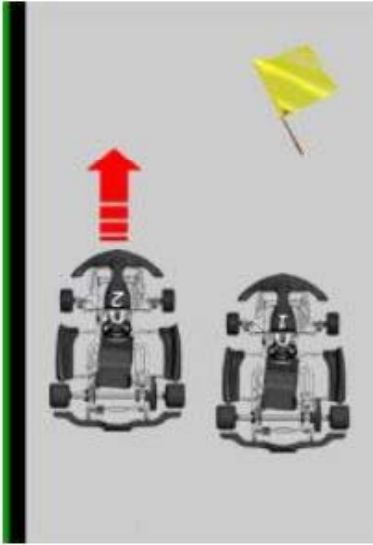

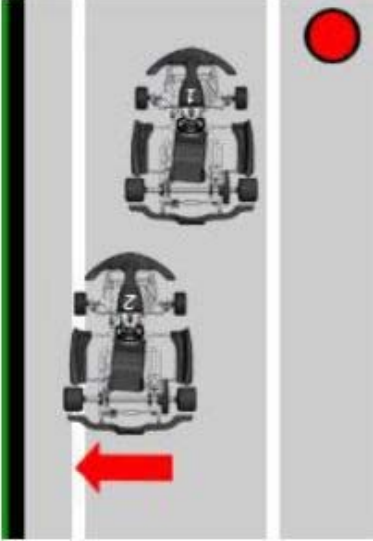
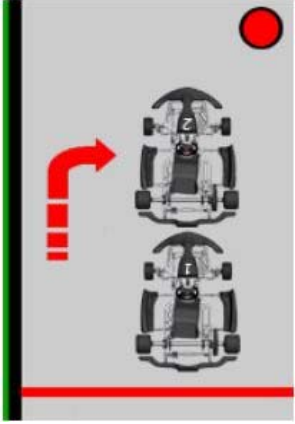
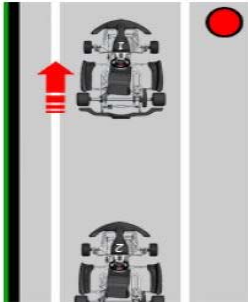
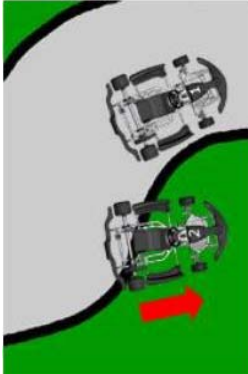
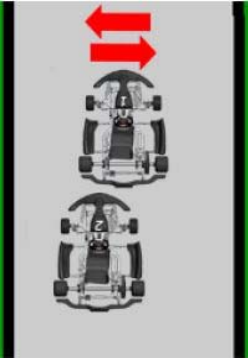


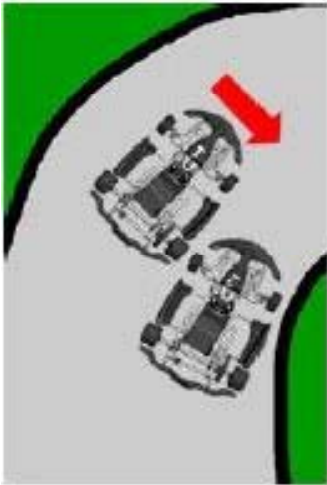
2018 APG SERIES RACE ペナルティ表

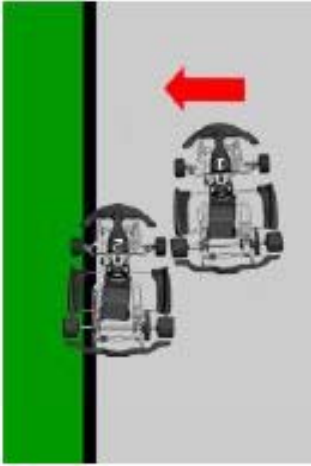
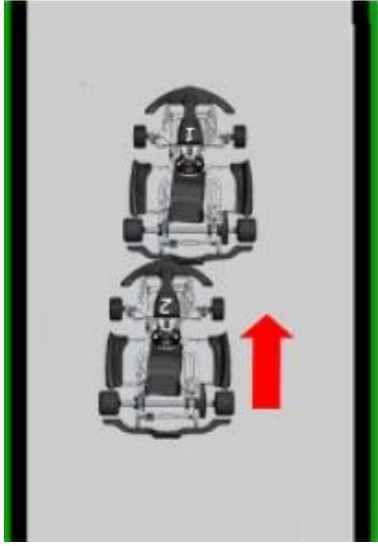
反則行為	解 説	図 解	ペナルティ判断 (ジャッジ)
<p>例 1 フラッグ無視</p>	<p>コースオフィシャルや競技委員から提示された旗に従わない事をフラッグ無視とします。 これは、旗の種類、従わなかった理由、利益を得たか否かにかかわらず適用されます。</p> <p>一般的な違反は以下の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 黄旗区間での全車追い越しや減速せずに追い越しをかける行為。 2. オレンジボール旗、黒旗提示を無視し、レースを続ける。 3. 青旗振動に対してラインを譲らない。 4. 白黒旗の提示を受けても、その警告行為を直さない。 5. 白地に赤×旗の無視やその他。 <p>※旗によってはドライバーサインを必ず出さなければなりません APGシリーズでは、右欄の中から選択してペナルティを判断します。 尚、状況におおじてペナルティは競技長によって上限も軽減もされます。</p>		<p>旗無視: 注意または警告旗の指示を無視しレースを継続した場合⇒失格。</p> <p>公式練習中の違反の場合、TTの成績に対し、タイム加算。</p> <p>TT中の違反に対して、成績に0.25~1秒加算。</p> <p>黄旗無視での追い越しは、状況によって、タイム加算や1周減算。</p> <p>または、3~10ポジションダウン。</p>
<p>例 2 白黒旗</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ローリング隊列を見dするような行為には積極的に白黒旗が提示されます。その対象者はスタート後ヒート中の白黒旗と累積になることはありませんが、スタート後のヒート中に白黒旗をうけるような行為を2回繰り返した場合、黒旗が提示され、競技長の元に出頭し、確認後に競技裁定となります。 また、白黒旗は他のヒートにまたがって累積することはありません。 2. 危険な行為、事故を招くような行為には積極的に白黒旗が提示されます。再度その行為が繰り返された場合、白黒旗が累積2回となり黒旗が提示され、対象者は競技長の元に出頭し確認後に競技裁定となります。 また、白黒旗は他のヒートにまたがって累積することはありません。 <p>※APGでは、白黒旗を提示する前にペナルティーボードで警告をする場合があります。 (プッシング・幅寄せ・ブロック・その他とゼッケンボード)</p>		<p>白黒旗: 1回目は警告 同ヒート中累積2回目は当該ヒート失格となります。</p> <p>ただし、スタートを切る前の白黒旗は累積にカウントされません。</p>

反則行為	解 説	図 解	ペナルティ判断 (ジャッジ)
<p>例 3 チェッカー旗 及び ダブルチェッカー</p>	<p>1. チェッカー旗を受けたが、安全なスピードまで落とさない場合や全車を追い越した場合。 2. チェッカー旗を受け、レース終了となったにも関わらず、再度コントロールラインを通過し、チェッカー旗を2回受けた場合。 3. チェッカー旗を受けた後、減速せずにスピンやコースアウト等をし、レースの進行を遅らせた場合。</p>		<p>全車を追い越し、スピードを落とさない行為やダブルチェッカーは嚴重警告。 または、1～10秒加算。</p>
<p>例 4 車両違反 及び 服装違反</p>	<p>テクニカルレギュレーションに定められた全ての部品を装備していなかった場合を車両違反とします。 レース前、レース中、レース後、発生する時間は問いません。 同様に利益が有るか無いにかも問いません。 ヒート後の車検時の状態を判断の基準とします。</p> <p>特徴的な違反は以下の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 重量違反。 2. 間違った寸法や違反部品の使用等。 3. 間違った燃料、違法オイル、クーラント使用、その他・・・。 4. タイヤへの加工、薬品の塗布など。(タイヤ検査機Mini Rae) 5. 違法な改造。 6. ドライバーの安全装備義務違反。 7. 吸気、排気装置のトラブルや脱落があっても、レースを止めなかった場合 ※この場合、安全上問題があると判断した場合、その限りではありません。 8. オレンジボール旗によって、レース終えた場合。 9. その他。 		<p>違反は基本⇒ヒート失格 軽度な違反⇒警告</p> <p>安全装備違反等は成績に1～10秒加算。 または、3～10ポジションダウン。</p> <p>※吸気、排気装置のトラブルや脱落があり、競技を止めた場合⇒競技DNF</p> <p>安全上問題があると判断した場合はオレンジボール旗の指示を受ける。</p> <p>競技を止めない場合⇒黒旗にて競技裁定。</p>
<p>例 5 ローリング隊列 違反 及び ヒーティング</p>	<p>ローリング隊列のスピードを著しく乱す行為や、ローリング中の隊列を守れない走行、他者と接触しそうな激しいヒーティング行為やプッシング等によって競技進行をディレイ(競技遅延)された場合。 ホームストレート上の誘導線から車体半分以上のはみ出しも隊列違反です。 先頭の左右2台は隊列を守り、スピードを整える義務があります。 ペースダウンボードやペーススキープボードを確認しなければなりません。 この義務を怠った場合はペナルティの対象となります。</p>		<p>軽度⇒警告や白黒旗提示</p> <p>悪質な場合は赤旗後最後尾へポジションダウン。 または、成績に1～10秒加算。 または、3～10ポジションダウン。</p>

反則行為	解 説	図 解	ペナルティ判断 (ジャッジ)
例 5	<p>注)ヒーティング行為により、スピンやコースアウトや他社への進路妨害頭等があった場合、危険行為とみなしローリングは最後尾につくものとする。</p>		
<p>例 6 スタート行列違反及び スタートディレイの 赤旗起因</p>	<p>スタート合図が出る前に、2番のカートのように、誘導白線からカート車体の半分以上がはみ出し、追い抜きの行為を早く始める事をスタート行列違反とします。 ※フライングスタートともいう。 2番のカートが、単にラインに触れたり、タイヤがはみ出す程度は違反と判断しません。 また、25mライン通過後、前方のカートが失速し(前々車との間隔が1台以上開く場合)した場合や前車との衝突を避ける行為、車両ダブルで速度が上がらないカートを通す行為は認められます。</p> <p>注)スタート前のローリング行列走行中、単なるドライバーの運転ミスや車両トラブルによって、競技を継続できないような原因を発生させ、赤旗によってスタートディレイ(競技遅延)させた場合、その対象ドライバーは、再スタートの際、最後尾に下がるものとなります。 また、対象ドライバーが複数いた場合のスタート順は協議の上決定します。</p>		<p>軽度⇒警告や白黒旗。 または、成績に1～10秒加算。 または、3～10ポジションダウン。 赤旗起因車両は、最後尾に移動し、再スタートとする。</p>
<p>例 7 ポジション復帰禁止エリアでの復帰</p>	<p>ローリング走行中、ポジション復帰禁止エリア(コース図に指定箇所表示あり)に入ってから、2番のカートのようにローリング中のカートを追いつき、自分のポジションに復帰した場合。</p> <p>※ドライバーマナーとして元のポジションに戻る場合には、しっかり手を上げ、他車にアピールをし安全に復帰することを心がけなければならない。強引に入り込み、隊列を大きく乱したり、事故を招いた場合、危険行為と判断されます。またポジションを開けない行為はペナルティの対象とします。</p> <p>注)前方のカートが車両トラブルで加速できないと判断した場合、その車両を抜いてもペナルティにはなりません。</p> <p>《ローリングの隊列に大きく遅れた場合》 対象ドライバーに白地に赤×印のポジション復帰禁止ボードを提</p>		<p>悪質な場合や他の違反行為と重複した場合は当該ヒート失格。 または、成績に1～10秒加算。 または、3～10ポジションダウン。</p>

反則行為	解 説	図 解	ペナルティ判断 (ジャッジ)
例 7	<p>示します。提示されたドライバーはローリングの最後尾へ付かなければなりません。ミススタートによる再スタートの場合でもポジションは復帰してはなりません。</p>		
例 8 ジャンプスタート	<p>下記項目をジャンプスタートとします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. スタートが切られる直前に、1番のカートがアクセルを大きく踏みこみ1番のカートと2番のカートの間を1台分以上間隔が開くような行為の場合。 2. リタイア等によって前方のカートがいない場合の空席グリッドが確保せれず、グリッド位置が前方につめられている場合。 3. スタートする前に自発的にスタートポジションを上げた場合。 <p>※1番のカートが元の位置に戻った場合やスタートが切られなかった場合は、ジャンプアップスタートとみなしません。</p>		<p>軽度⇒警告や白黒旗提示。</p> <p>または、成績に1～10秒加算。 または、3～10ポジションダウン。</p>
例 9 ショートカット	<p>2番のカートのようにコースから完全に外れ、走行距離が短くなった場所から再びコースに復帰することをショートカットとします。</p> <p>ペナルティの判断</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2番のカートが順位を上げるか、その周回タイムが明らかに速かった場合。 2. 1番のカートまたは、その他のカートが2番のカートが復帰することで被害を負った場合。 3. 1番のカートまたは、その他のカートが2番のカートが復帰することで順位を下げたり、リタイアした場合。 <p>※停止しているカートやトラブルで失速したカートとの接触を避ける場合はこの限るではありません。</p>		<p>軽度⇒警告や白黒旗提示。</p> <p>悪質な場合や他の違反行為と重複した場合等、当該ヒート失格。</p> <p>または、成績に1～10秒加算。 または、3～10ポジションダウン。</p>
例 10 ジグザグ行為 及び レーンチェンジ 行為	<p>1番のカートのように直線部分でカートの幅以上に左右に蛇行することをジグザグ行為とします。</p> <p>2番のカートから、1番のカートが離れている場合や2番のカートが追い抜くことができたとしても適用されます。</p> <p>特徴的な違反は以下のものです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 後方にあるカートの位置を目視で確認し、わざと走行ラインをずらしジグザグ走行によって抜かれないようにする行為。 2. レース中のコーナー進入時や立ち上がり直線で、意図的に走行レーンを変え、後方のカートの進路を妨害する走行を一般的にレーンチェンジと言い、レース中の蛇行走行をジグザグと言います。 		<p>軽度⇒警告や白黒旗提示。</p> <p>悪質な場合や他の違反行為と重複した場合等、当該ヒート失格。</p> <p>または、成績に1～10秒加算。 または、3～10ポジションダウン。</p>

反則行為	解 説	図 解	ペナルティ判断 (ジャッジ)
<p>例 11</p> <p>カットイン コーナーリング時 の走路妨害</p>	<p>1番のカートが2番のkartの進路を妨害するようにコーナー内側に進路を変更することをカットインとします。 これは双方のkartが接触したか否かは関係ありません。</p> <p>2番のkartが1番のkartの少なくとも1/3以上(2番の前輪が1番の後輪より前)の位置にいた場合に判断されます。</p> <p>ペナルティの判断</p> <ol style="list-style-type: none"> 1番のkartがカットインの行為をした場合。 2番のkartが順位を落とすか、またはリタイヤした場合。 2番のkartがダメージを受けて同一ラップ中に順位を落とすかリタイヤした場合。 <p>※1番のkartが2番のkartの走行ラインを残して走行する場合はカットインと判断されません。</p>		<p>軽度⇒警告や白黒旗提示。</p> <p>悪質な場合や他の違反行為と重複した場合等、当該ヒート失格。</p> <p>または、成績に1～10秒加算。 または、3～10ポジションダウン。</p>
<p>例 12</p> <p>エッジイン 無理な突っ込み</p>	<p>2番のkartが十分な隙間がないのに、1番のkartの内側に入っていくことをエッジインとします。</p> <p>※スタート時の混雑からの無理やりなライン取り、強引な追い抜きの場合など。または適正な減速をする様子がない行為。</p> <p>2番のkartの多くの部分が1番のkartのイン側にいる場合、または2番のkartが接触を回避するために部分的にコース外にいる場合は問題はありません。</p> <p>ペナルティの判断</p> <ol style="list-style-type: none"> 2番のkartがエッジインの行為をした場合。 2番のkartが順位を上げた場合。 1番のkartが順位を落とすか、またはリタイヤした場合。 1番のkartがダメージを受けて、同一ラップ中に順位を落とすか、リタイヤした場合。 		<p>軽度⇒警告や白黒旗提示。</p> <p>悪質な場合や他の違反行為と重複した場合等、当該ヒート失格。</p> <p>または、成績に1～10秒加算。 または、3～10ポジションダウン。</p>

反則行為	解 説	図 解	ペナルティ判断 (ジャッジ)
<p>例 13</p> <p>プッシュアウト 幅寄せ</p>	<p>1番のカートがラインを変更して2番の車を完全に、または部分的にコース外に追いやることをプッシュアウト及び幅寄せとします。</p> <p>これは双方の車が接触したか否かは関係ありません。2番の車が1番の車の少なくとも1/3以上(2番の前輪が1番の後輪より前)の位置にいた場合に判断されます。</p> <p>ペナルティの判断</p> <ol style="list-style-type: none"> 1番の車がプッシュアウトの行為をした場合。 1番の車が順位を上げた時。 2番の車が順位を落とすか、またはリタイアした場合。 2番の車がダメージを受け、同一ラップ中に順位を落とすか、リタイアした場合。 1番の車が危険行為と判断された場合。 <p>※1番の車が2番の車の走行ライン(車体1台分が基準)を残し走行する場合はプッシュアウトと判断されません。</p>		<p>ペナルティ判断 (ジャッジ)</p> <p>軽度⇒警告や白黒旗または、ゼッケンボードと幅寄せボードを提示。</p> <p>悪質な場合や他の違反行為と重複した場合等、当該ヒート失格。</p> <p>または、成績に1～10秒加算。 または、3～10ポジションダウン。</p>
<p>例 14</p> <p>プッシング 後方からの接触</p>	<p>2番の車のフロントが1番の車のリア部分に接触することをプッシングとします。またストレート走行中やコーナーリング中に前車を押し出す行為に関しても同様とします。</p> <p>下記「ペナルティの判断」を考慮した結果、2番の車が利益を得ない場合でも危険行為と判断された場合はペナルティの対象となります。</p> <p>《対象となりやすいエリア》 コーナーへの進入区間/旋回区間などの後方からの接触が危険なエリア</p> <p>ペナルティの判断</p> <ol style="list-style-type: none"> 2番の車がプッシングの行為をした場合。 2番の車が順位を上げた時。 1番の車が順位を落とすか、またはリタイアした場合。 1番の車がダメージを受け、同一ラップ中に順位を落とすか、リタイアした場合。 2番の車が危険行為と判断された場合。 <p>※1番の車が失速などによって起因した後方からの接触は、プッシングと判断しない場合があります。</p>		<p>軽度⇒警告や白黒旗または、ゼッケンボードとプッシングボードを提示。</p> <p>悪質な場合や他の違反行為と重複した場合等、当該ヒート失格。</p> <p>または、成績に1～10秒加算。 または、3～10ポジションダウン。</p>

反則行為	解 説	図 解	ペナルティ判断 (ジャッジ)
例 15 危険行為	<p>下記項目を危険行為とします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 減速をせず、無理な進入速度で多重クラッシュを招く行為。 2. 走行ラインを残さず、危険なブロックによって相手をつぶす行為。 3. コース上に停止してしまい、その後の対処に関してコースオフィシャルの指示に従わない場合。 4. 停止後にコースに復帰する場合、後続車がいるにも関わらずドライバーサインも出さずに後続車通過前に再スタートした場合。 5. 事故停止カートやコースアウトしたカートを、放置し傷害とされる行為。 6. コース上を競技中に横断したり、他者にものを投げる行為。 7. コースを逆走し事故を招く行為。 		<p>軽度⇒警告や白黒旗提示。</p> <p>悪質な場合や他の違反行為と重複した場合等、当該ヒート失格。</p> <p>または、成績に1～10秒加算。 または、3～10ポジションダウン。</p>
例 16 ピットエリア違反行為 及び ピットロード違反行為	<p>下記項目をピットエリア、ピットロードでの違反行為とします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ピットエリアに入るため、ピットロードを走行中に減速しなかった場合、ピットロード徐行違反とします。 2. ピットエリアに向かったが、エンジンを停止せずにコースに復帰した場合、ピットスルー危険行為とします。 3. 指定ピットエリア外で作業をしたり、危険物を持ち込んだり、競技長の注意を無視した行為、サインエリア外でのドライバー合図など、多くの場合がピットエリア違反行為と判断されます。 4. ピットエリアからの再スタート時、押しがけサポート区間を過ぎても、登録ピットクルーがサポートを継続した場合。 		<p>軽度⇒警告</p> <p>悪質な場合や他の違反行為と重複した場合等、当該ヒート失格。</p> <p>または、成績に1～10秒加算。 または、3～10ポジションダウン。</p>
例 17 ダミーグリット違反行為	<ol style="list-style-type: none"> 1. ダミーグリットに入った後、工具を用いて車両整備を行った場合。 2. 指定した時間内に、ダミーグリットに入らなかった場合。 3. 本コース上でスタートを待つ間、工具を用いた車両整備を行った場合。 4. 赤旗中断後、競技長から指示が出る前に、工具を用いた車両整備を行った場合やケミカル類を使用したり給油を行った場合。 5. レース終了後、検査を受ける前に不良箇所を修正した場合。 6. ダミーグリットからのスタート時、押しがけサポート区間を過ぎても、登録ピットクルーがサポートを継続した場合。 		<p>基本⇒当該ヒート失格</p> <p>または、成績に1～10秒加算。 または、3～10ポジションダウン。</p> <p>※悪質な場合レース除外処置の場合もあります。</p>

反則行為	解 説	図 解	ペナルティ判断 (ジャッジ)
例 18 その他の競技違反	<ol style="list-style-type: none"> 1. 公式練習に参加する意思がなかった場合、競技参加を取り消しとなります。 2. 競技委員に申告せず、無断で計測装置やエンジンを変更した場合。 3. ピット、パドックで火器を扱ったり、喫煙した場合。 ※基本、火器は使用禁止ですが、主催者によって確認し認められる暖房器具の場合は問題ありません。 喫煙場所以外、特にパドックでの歩きタバコや整備中のくわえタバコが発覚した場合、その対象ドライバー、ピットクルー、メカニックに1回目は警告、2回目の行為が発覚した場合はペナルティが入ります。 4. エンジン暖気場所以外で、エンジンの空吹きを行った場合。 ※ダミーグリッドでエンジン始動チェックは行えますが、暖気場所を設定下にも関わらず、その指定場所以外でエンジンの空吹きを行った場合、その対象ドライバーにペナルティが課せられます。 5. ドライバーズブリーフィング(ミーティング)を不参加した場合は罰金とする。 6. レース本規則や追加公式規則に関する事項を守らなかった場合。 7. 記載無き新規競技規則に関する事項を守らなかった場合。 		ペナルティ判断 (ジャッジ) 軽度⇒警告 悪質な場合競技失格や競技施設からの退去指示がなされます。 または、成績に1～10秒加算。 または、3～10ポジションダウン。 ※悪質な場合レース除外処置の場合もあります。 ※罰金は1万円とします。
例 19 ドライバーモラル	<ol style="list-style-type: none"> 1. ドライバーサインを出さない場合。 2. 競技役員、コース委員、オフィシャルからの指示を無視した場合。 3. 走行中に、競技相手を挑発したり威嚇する行為をした場合。 4. 他人への言葉による脅しや侮辱、暴力行為をした場合。 5. パドックでの常識外の場所取りや禁止区間への車両乗り入れ行為。 6. 競技の裁定や運営に対し、理由も聞かず、競技委員に怒鳴り込んで来たり、暴言を吐くドライバーやエントラントの行為。 7. 競技規則を読まず、理解せず、競技委員にクレームを入れる行為。 8. 工具やケミカル類を持って走行した場合。 		軽度⇒警告 悪質な場合競技失格や競技施設からの退去指示がなされます。 または、成績に1～10秒加算。 または、3～10ポジションダウン。
抗議	競技判定に関する抗議は、ヒート終了後30分以内とする。		抗議料: ¥ 20,300-

以上、例1から例19までのペナルティジャッジは目安ですので、記載されていない行為でも競技委員の判断によるペナルティとなる場合があります。また、競技委員やレース大会の格式によって、表記のペナルティとは違う判定の場合もあります。
【注 意】審判判定は競技規則の改定などにより毎年変更されることがあります。

- ※1. レース競技状況により、ペナルティの判定が遅れ、ヒート終了直後に発表できない場合があります。
- ※2. 暫定結果から正式結果を決定する際、ペナルティの判定等によって成績が変動する場合があります。

ペナルティカタログ作成の主旨

- ・本ペナルティカタログは、競技の安全と参加者からの信頼を得る運営進行を最優先と考え、ドライバー、エントラント、主催者、オフィシャル、全ての方がスポーツマンシップを持ち、本大会へ挑むことがポリシーと考えております。
- ・スポーツマンシップに準じ技術向上と選手育成を目指します。
- ・大会に関連する参加者全てのマナー向上を目指し、安全で公平なレース運営を目指します。

主 催： オートパラダイス御殿場
作 成： 2017年12月 8日